

JpGU 2025 (@幕張メッセ) の会期中に、毎年恒例の EPS 誌「意見交換会」を行いました。EPS 誌の発展に向けて議論と交流を深める目的で、例年、Springer スタッフをお招きし、5 学会会長、編集委員、運営委員などにご参加頂いております。フランクな雰囲気で行うミーティングで、今年は 23 名の方々にお集まりいただきました (昨年の参加者は 27 名)。



最初のご挨拶は能勢正仁編集長から頂きました (左上写真)。2025 年の新編集体制と新しく編集アシスタントとして迎えた岩橋ももさんのご紹介や、各種委員会、学会および Springer への感謝の意が述べられました。続いて出版社である Springer の Beate Hienz さんから、出版、アクセス、引用などの状況や今後の課題などが示されました (右上写真)。それを受け、会場では、投稿～受理の時間短縮に向けた編集システムや査読プロセスの改善点などが議論されました。運営委員会からは、出版数増加による収入 (掲載料還元金) の安定化や、科研費獲得による割引制度導入など、最新の活動内容が報告されました。



次に 5 学会代表のご挨拶を頂きました。前編集長で本大会委員長でもある鷺谷威 測地学会会長をはじめとし、今村剛 惑星科学学会会長、久家慶子 地震学会会長、中村美千彦 火山学会会長、そして地球電磁気・地球惑星圏学会 (SGEPSS) 代表の小田啓邦様から、EPS 誌の意義・重要性やそこに至る歴史などについて、さまざまな視点からスピーチを頂きました。特に EPS 誌の黎明期を支えた運営委員会元議長でもある SGEPSS の小田様からは、当時の逸話 (奮闘記) や、田中館愛橘先生と EPS 誌の前身である Journal of Geomagnetism and Geoelectricity (JGG) 誌との深い関係などについて、貴重なお話を頂きました (上写真)。最後は、大倉敬宏 副編集長、齊藤竜彦 副編集長からご挨拶を頂き、集合写真を撮って閉会しました (次頁)。

今回は、運営側の都合の関係もあり、SGEPSS の評議員会と日時が重なってしまい、中村卓司会長はじめ SGEPSS 会員の編集委員や受賞者の方々をご出席できませんでした。ここに深くお詫び申し上げます。来年の JpGU は、AGU との合同開催であり、海外の編集委員をはじめ、多くの参加者が見込まれます。



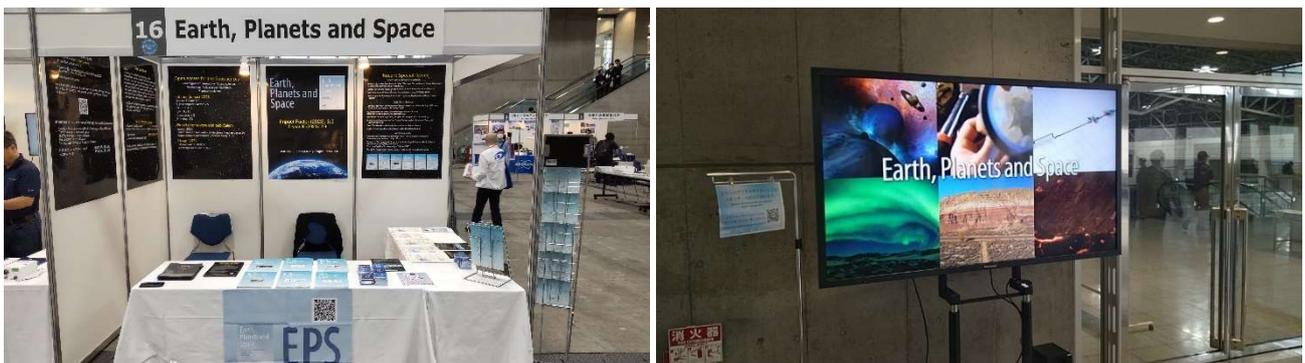
今回は日程調整と呼びかけを丁寧に行い、盛大に意見交換会を開催したいと思っております。みなさまのご参加もお待ちしております！

「EPS 誌 意見交換会 2025」  
日にち：2025年5月26日（月）  
時間：18:30～20:30  
場所：海浜幕張駅周辺会場  
参加者：23名

以上。

### 追加記事 JpGU における広報活動報告

国際展示場ホールの一画に、今年も EPS 誌のブースを出展しました。編集事務局員である長谷川みどりさんのご尽力もあり、角地である一等地に 5 枚のポスターを並べ、効果的な広報活動を行うことができました（左下写真）。また、今年は新スタッフの岩橋ももさんも加わり、充実した広報を展開することができました。ブースでは、EPS 誌のフライヤー、ポストイット、クリアファイル、特集号要旨集、そしてクイズラリー景品用のトートバッグを配布しました。特に、特集号要旨集は今年も大変好評で、多くの方々の目を惹き、手に取って頂くことができました。クリアファイルも相変わらずの人気でした。お立ち寄り頂いたみなさまに、あらためてお礼申し上げます。グッズも在庫が少なくなってきたので、現在は新しいグッズ作成の構想を練っております。もし、みなさまから良いアイデアがあれば、是非お寄せください。



ホール入口のデジタルサイネージにも宣伝動画を流し（右上写真）、EPS 誌の存在をアピールすることができました。

（宣伝動画リンク） <https://www.youtube.com/watch?v=5RoVquAz7xA>

EPS 誌の運営資金の大半は、みなさまの投稿料（論文掲載料）から成り立っております。今後も EPS 誌の周知にご協力頂くとともに、みなさまおよび周囲の方々の研究成果を、EPS にご投稿頂ければ幸いです。特集号のご提案もお待ちしております！